

大学コンソーシアム富山 令和3年度「富山学」実施報告

<p>事業名</p>	<p>大学コンソーシアム富山 令和3年度単位互換開講科目 「富山学」</p>
<p>実施機関名</p>	<p>富山大学 奥 敬一（富山大学芸術文化学部准教授）</p>
<p>趣旨・目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富山の自然基盤の成り立ちと現状について理解し、産業やまちづくりとのつながり、防災の重要性などについて理解を深める。 ・フィールドワークや地域のひとびととの対話を通して富山の歴史的・文化的な成り立ちと現状について理解し、住環境や生活にみられる富山の価値に対する理解を深める。 ・富山県が持っている世界や日本の中での独自性・固有性を活かして、富山の将来像について日常の中で意識的に考え、行動できるような態度を培う。
<p>開催日時</p>	<p>令和3年9月7日（火）、9月14日（火）、9月21日（火）、 9月28日（火）</p>
<p>開催場所</p>	<p>Web 会議ツール「Zoom」による遠隔授業</p>
<p>参加人数</p>	<p>学生45名 【内訳】・富山大学（41名） ・富山県立大学（4名）</p>

<p>事業内容</p>	<p>< 1～3回 9月7日(火) 2限～4限 ></p> <p>1. ガイダンス 講義全体の進め方、成績評価等についての解説 世界の中の富山、日本の中の富山：富山県の基礎情報 現地見学の注意事項</p> <p>2. 富山の自然基盤（水循環） 立山連峰から富山湾に至る大きな水循環について理解し、富山の産業や生活と深く関わっていることを学ぶ</p> <p>3. 富山の自然基盤（植生） 過去から現在にわたる富山の自然植生の変化と現況について解説し、緑地がグリーンインフラとして生活・住環境の維持に果たしてきた役割について理解する</p> <p>< 4～7回 9月14日(火) 1限～4限 ></p> <p>4. 統計からみた富山 「とやま統計ワールド」の情報をもとに富山県の特徴を理解する</p> <p>5. 富山の生活文化（扇状地の生活文化） 砺波平野の散居村、黒部川扇状地の生活文化</p> <p>6. 富山の生活文化（世界遺産としての価値） 世界文化遺産とは。五箇山の世界遺産としての価値</p> <p>7. 世界遺産を維持するための取り組み 外部の人々と協働による観光振興 外部講師：五箇山自然文化研究会・荒井 崇浩</p> <p>< 8～11回 9月21日(火) 1限～4限 ></p> <p>8. 富山の自然基盤（立山連峰） 立山山系の地形的な特徴とその社会との関わりについて解説する</p> <p>9. 富山の自然の保全 立山の自然の保全の実態や、自然環境と両立する観光のあり方、さらに自然保護に関する仕事について学ぶ 外部講師：環境省立山管理官事務所国立公園管理官・西田 樹生</p> <p>10. 富山の自然基盤（生物多様性） 富山の自然環境と社会文化の相互作用が織りなす生物多様性について解説し、住環境や食文化との関係について理解する</p> <p>11. 富山の自然基盤（総括） 富山の自然基盤についてのグループディスカッションを通して、富山の特徴を生かしたライフスタイルとは何かを検討する。</p>
-------------	---

< 12～15回 9月28日(火) 1限～4限 >

12. 富山の歴史と文化（生活文化の景観）

富山の自然環境と社会文化の相互作用が織りなす生物多様性について解説し、住環境や食文化との関係について理解する

13. 富山の歴史と文化（山の文化と信仰）

立山山系と白山山系の両霊山を擁する富山には、信仰を背景とした多様で奥深い山村生活の文化が根付いている。富山の基層に流れる山の文化について解説する。

14. 富山の歴史と文化（海の文化とネットワーク）

日本海に面した富山は海を通して他地域ともつながりあってきた。そのネットワークは国内はもちろん海外にもつながっている。富山の生活や産業を支えてきた外の世界とのネットワークについて解説する。

15. 総括

フィールドワークにもとづくディスカッションと「富山学」のまとめ

9月14日(火) 外部講師による講義

